

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 23 日 (13:30 ~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 坂井、繪面、北條、小松、小野、疋田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	7 人	3 人	11 人

前回の改善計画	利用開始時の面接の時間を調整し、ケアマネ以外の、看護、介護職員が同行し情報を得るとともに関係づくりを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	限られた人員の中で介護職員が同行することはできなかった。看護職員が面接に同行し医療的な事項を確認する事は何度かできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	1		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	2		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	7	1		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	1	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①朝夕のミーティング、フェイスシート、申し送り簿等で情報を共有できている。 ③初期の関わりを多く持つようにし、会話を多く持つことで気持ちを和らげるようにしている。 ④送迎時に家族に様子を伝えるなどコミュニケーションをとるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
急な受け入れに対して、ある程度の情報はあるものの、受け入れ後のケアに対して、介護職員が方向性に戸惑うことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
急な受け入れに対して、受け入れ後、可能な限り早くカンファレンスを開催し、ケアの方向性の確認を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月28日 (16:00 ~17:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 坂井、繪面、石川、北條、伊藤 (美)、野呂、野嶋、疋田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	6人	5人	11人

前回の改善計画

サービス担当者会議に、ケアマネ以外の職員も同行するようにして、ご本人、ご家族の思いをくみ取るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

限られた人員の中で介護職員がサービス担当者会議に同行することはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	2		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	5	4		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	4		11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	5		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②「本人の目標」「当面の目標」は、ケアプラン、小規模個別援助計画書によって確認できている。

③④本人、家族との会話から得られた情報は、朝夕のミーティング、カンファレンスで共有し、ケアに活かす努力をしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

③④業務に追われる場面があり、どこまで本人の意志に添えているのか話し合う機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ミーティングでより多くの職員が発言し、より多くの意見を拾うようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 28 日 (16:00 ~17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 坂井、繪面、石川、北條、伊藤 (美)、野呂、野
島、疋田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	2人	2人	11人

前回の改善計画
情報量が少ない利用者に対して情報を得るように努め、ファイルに以前の暮らし方等、新たに得た情報を記載し、共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の情報を得る様に個々の職員が努めた。ファイルを活用できていないため、共有できていない事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	7	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	6			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	5		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	6			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	①個々の利用者から情報を得ようと努めている。 ②④⑤気持ちや体調の変化にはすぐに対応し、看護師、ケアマネ、介護間での、情報共有している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	①利用者によって情報量に差がある。 ③声にならない声について、把握しようと努力はしているが、それを全てチームで言語化できている訳ではない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新たに得た利用者の情報は、手順書に随時記載して共有を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 28 日 (16:00 ~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 坂井、繪面、石川、北條、伊藤 (美)、野呂、野島、疋田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3 人	6 人	2 人	11 人

前回の改善計画
利用者についての情報量に差があるため、情報量の少ない方についても資源、ライフスタイル等、情報を得る様に努め、ファイルにて情報共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の情報を得る様に個々の職員が努めた。ファイルを活用できていないため、共有できていない事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	5	3	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	5	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	3	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	5	3	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③本人、家族と会話を持つようにし、関係を作り、そこから情報を得るように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域との関わりは、管理者、主任の業務という意識の職員が多く、それぞれの職員が意識が外部へ向かっていない面がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
意識を事業所内だけではなく、事業所の外にも向けて、職員一人一人が地域の方と関係を作る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 28 日 (16:00 ~17:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 坂井、繪面、石川、北條、伊藤 (美)、野呂、野島、疋田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	5 人	4 人	1 人	11 人

前回の改善計画	地域の資源の確認し把握する。利用者が持っている資源も把握し連携をとる。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の資源として、利用者の近隣住民、調剤薬局、民生委員などと連携し取り組む事ができた。利用者によってかたよりのある形になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	3	4	1	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7		1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	6	1		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①いこい食堂、地域住民、調剤薬局、日常生活自立支援事業等、事業所以外の資源を使っている。	
②その時の利用者の状況に応じて、柔軟に支援している。	
③朝夕のミーティング、職員会議で、変化を共有するように努めている。	
④急な通院援助、泊まりなど、利用者のニーズに合わせて対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「資源」について、職員の認識に違いがある。公的なものとする職員が多いが、ご本人が持っている能力、人間関係も資源であるし、個々の職員の外部の人間関係も利用者にとって資源となる事を再確認する。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
意識を事業所内だけではなく、事業所の外にも向けて、職員一人一人が地域の方と関係を作る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月26日（13:30～14:00）

6. 連携・協働

メンバー 繪面、石川、岩本、野呂、疋田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2人	5人	4人	11人

前回の改善計画	地域の情報を集め、町内会等と関わり、連携を持つようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	一部の町内会とは、祭りに参加させていただくなど、関わりを持つ事が出来ているが、まだ十分とは言えない。 いこい食堂と連携して、桜回廊無料休憩所のボランティアを確保することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	2	6	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			4	7	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		4	2	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	7	2	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③地域包括支援センター、自治体、その他のサービス機関とは、管理者、主任が中心となり関わりを持つようにしている。 ④桜回廊無料休憩所、いこい食堂との関わり等で、遊びに来てくださる方がいらっしゃる。 定期的なボランティアによるイベントは定着している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
桜回廊での無料休憩所設置や定期的なボランティアなど、地域との関わりはできてきているが、さらに多くの人に関わるようにはできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
手芸のワークショップや学童の工作など、地域の方がきずなど関わる機会を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月22日(16:00~17:00)

7. 運営

メンバー 繪面、石川、岩本、北條、小松、疋田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	4人	3人	11人

前回の改善計画
地域の情報を集め、町内会等と関わり、連携を持つようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
一部の町内会とは、祭りに参加させていただくなど、関わりを持つ事が出来ているが、まだ十分とは言えない。
いこい食堂と連携して、桜回廊無料休憩所のボランティアを確保することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	3	2	4	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7		1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	1	3	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	4	3	2	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②ご本人、ご家族からの意見や苦情に対しては、情報を共有し、対応するように努めている
③桜回廊での無料休憩所、ボランティアが参加してくれる行事など、地域と協働した取り組みを行なっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①職員が、事業所のあり方について、自由に意見が言えているかというところではなく、言いづらい、言っているのかという面がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
事業所のあり方について、しっかりと明記し、それに基づき自由に意見交換を行える雰囲気と場を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月22日(16:00~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 繪面、石川、岩本、北條、小松、疋田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	2人	人	11人

前回の改善計画

- ・ヒヤリハットの中身をなるべく多くの職員で検討する場を設ける。
- ・職員個々の年間の研修について、事業所として計画、実施して行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

ヒヤリハットについては、朝礼、夕礼でその都度迅速に対応策を考えることができていた。研修に関しては、事業所として個々の職員の計画を立てることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		6	4	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	4	2	11
③	地域連絡会に参加していますか			2	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	3	2	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①法人内研修に関しては、事業所としてできるだけ職員を参加させる様にしていた。

④ヒヤリハットを速やかに提出することで、職員間の情報の共有が可能となった。その都度、対策について考える形となった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①②職員の外部研修への参加についてバラツキが生じてしまった。

③地域連絡会の定義が不明で、うまく回答できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

外部研修については、復命報告の書式が大変との意見が多く、書式の簡略化を検討する。外部研修の内容については、改まった報告会ではなく、都度、朝礼、夕礼、職員会議等で、きずなにとつて有益と思われる事柄をを口頭で報告する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月22日(16:00~17:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 繪面、石川、岩本、北條、小松、疋田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	7人	1人	10人

前回の改善計画
ホールで行っていたミーティングを、利用者に聞かれない形で開催する。

前回の改善計画に対する取組み結果
ホール以外でのミーティング(廊下、エントランス)を開催していたが、利便性から、結果としてホールで行う形となる。話題により、利用者に聞かれないように配慮した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	1			11
②	虐待は行われていない	10	1			11
③	プライバシーが守られている	6	5			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	3	1	4	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4	2		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②身体拘束、虐待は行われていない。
③着替え、入浴時など配慮するように心がけている。
④成年後見人制度、日常生活自立支援制度を活用して金銭管理を行なっているケースがある。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

身体拘束につながる声かけ、スピーチロックなど、自分ではしていないと評価していても本当にそうなのかという議論になる。職員も人間なので、感情の起伏はあるはずであり、その点を自覚するためにも、互いに声を掛け合い、互いのケアについてフィードバックする必要があるのではないか。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
職員が互いに、ケア、声かけについて、意見をフィードバックしあえるようにする。